

市議会第3回定例会で令和元年度の一般会計、特別会計および企業会計の決算を報告し、それぞれ認定されました。市民のみなさんに納めていただいた税金などがどのように使われたか、概要をお知らせします。

※市民一人当たりの金額は令和2年4月1日現在の人口(38,785人)で算出しています。

問 市 財政課(米原庁舎) ☎ 52-1553 FAX 52-4447

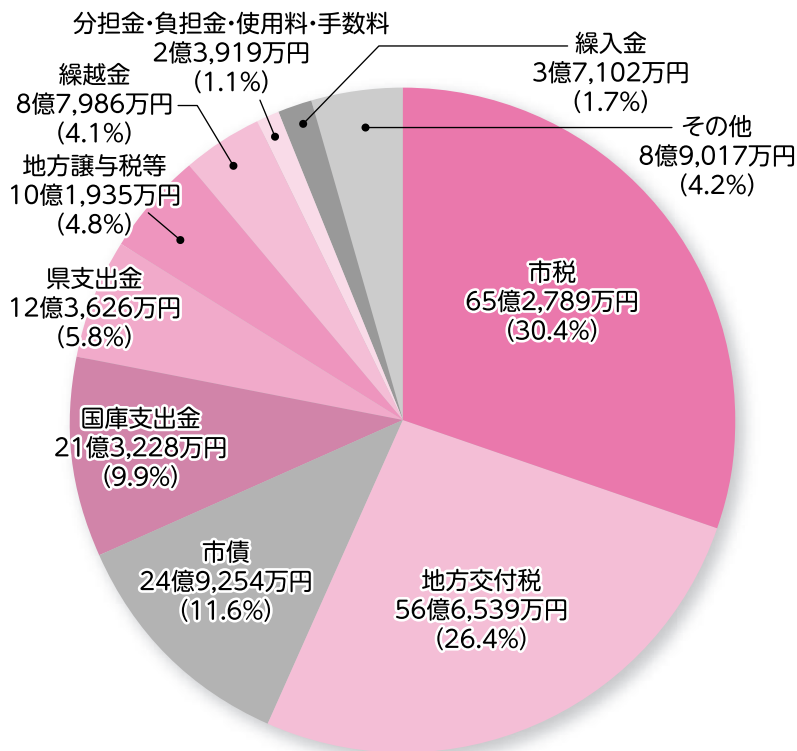
福祉、教育、公共施設の整備など市の基本的な事業を行うための会計です。

Point

7億9,400万円の黒字でした
(R2年度へ繰り越した事業に必要な額
2億3,989万円除く)

歳入決算額 214億5,395万円

前年度比 8億7,926万円 ↑



市税

市民のみなさんに納めていただいた税金で、市の収入の約3割を占める最も重要な財源(収入源)です。

■ 前年度比 1億4,786万円 ↑

地方交付税

地方交付税のうち約9割を占めるのが普通交付税で、全国どこでも一定水準の行政サービスが受けられるよう、国から交付されるお金です。

■ 前年度比 3,912万円 ↓

市債

施設や道路の整備など、多額の資金が必要な場合に国や金融機関などから借り入れるお金です。統合庁舎の整備事業等に伴い前年度より増加しました。

■ 前年度比 1億1,191万円 ↑

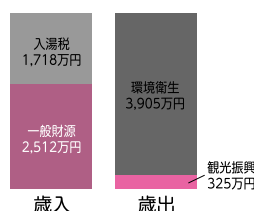
市税の状況

市税内訳		決算額
個人市民税		19億8,467万円
法人市民税		5億5,535万円
固定資産税		35億1,385万円
軽自動車税		1億3,591万円
市たばこ税		2億1,931万円
鉱産税		468万円
入湯税		1,718万円
都市計画税		9,694万円
合 計		65億2,789万円
内 訳	現年課税分	64億9,851万円
	滞納繰越分	2,938万円

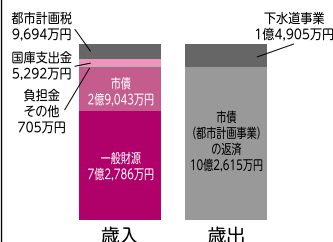
みなさんに納めていただいた税金の決算額は、65億2,789万円で、前年度より1億4,786万円増加しました。

市民一人当たり
約16万8千円

入湯税が使われた事業 計4,230万円



都市計画税が使われた事業 計11億7,520万円



Pick Up 入湯税と都市計画税

市税のうち、使い道が決められているのが入湯税と都市計画税です。入湯税は環境衛生や観光振興に、都市計画税は下水道事業や、都市計画事業整備のための借入金の返済に使用しました。



令和元年度決算で見る 米原市のお金の使い道

一般会計の決算状況

民生費

子どもや障がい者、高齢者のために使うお金です。学童保育施設の整備等に使いました。

■ 前年度比 1億513万円 **減**

教育費

幼稚園、小中学校の運営や文化・スポーツ振興のために使うお金です。学校教育施設の長寿命化に向けた工事費等に使いました。

■ 前年度比 5億7,556万円 **減**

土木費

道路の新設改良工事や橋りょう維持管理等に使いました。

■ 前年度比 1億4,262万円 **増**

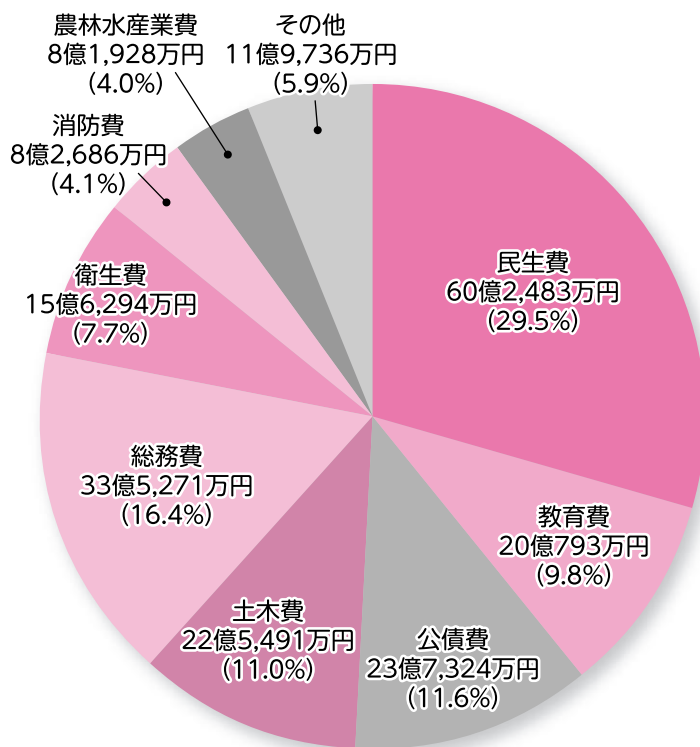
総務費

市政の運営や自治会、まちづくりのために使うお金です。統合庁舎の整備や公共交通対策等に使いました。

■ 前年度比 12億9,578万円 **増**

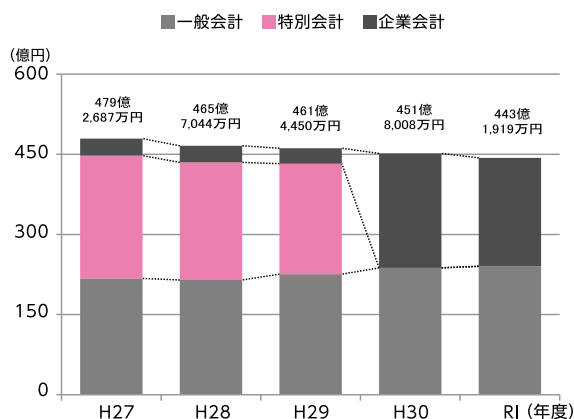
歳出決算額 204億2,006万円

前年度比 7億2,522万円 **増**



借金(市債)と貯金(基金)

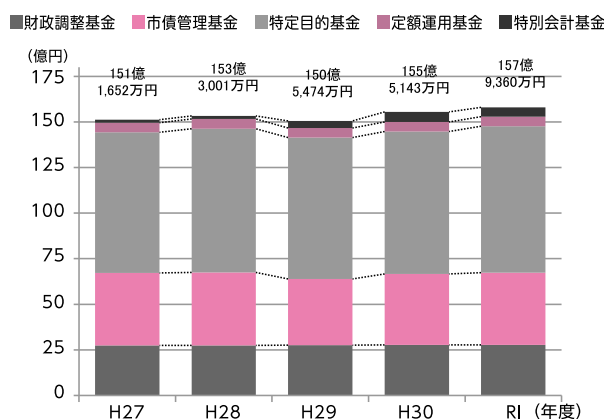
借金(市債)



繰上償還(期限前に返済したこと)等により平成30年度より8億6,089万円減少しました。

市民一人当たり
約114万3千円

貯金(基金)



教育施設整備のための基金積み立て等により平成30年度より2億4,217万円増加しました。

市民一人当たり
約40万7千円

令和元年度 歳出決算額と主な事業

民生費

市民一人 当たり
約15万5千円

子どもや障がい者、高齢者のために

自立支援給付事業 (障がい福祉サービス、施設入所・通所等への支援など)	10億2,315万円
子ども・子育て支援事業 (放課後児童クラブ、子育て支援センターの運営など)	3億5,340万円
福祉医療助成事業 (子どもや障がい者等への医療費の助成)	2億7,554万円



大原児童クラブ整備

教育費

市民一人 当たり
約5万2千円

幼稚園、小中学校の教育振興や
文化・スポーツ振興のために

小中学校施設整備事業 (長寿命化・体育館照明改修工事など)	3億8,065万円
体育施設管理運営事業	6,495万円
文化財保護事業 (保護保存活動への補助金、発掘調査など)	2,804万円



双葉中学校長寿命化工事

土木費

市民一人 当たり
約5万8千円

道路や河川の整備、除雪などの
ために

道路新設改良事業 (市道改良事業、県道の整備にかかる負担金など)	2億5,360万円
除雪事業	1億4,194万円
橋りょう維持管理事業 (点検、長寿命化工事など)	1億4,189万円



入江1号橋長寿命化工事

令和元年度 特別会計・企業会計の決算状況

特別会計と企業会計は、特定の収入(保険料や使用料など)により特定の事業を行うため、一般会計と区分している会計です。

特別会計

特別会計名	歳入	歳出	収支差引額
国民健康保険事業	33億6,370万円	33億4,860万円	1,510万円
介護保険事業	42億4,742万円	42億3,760万円	982万円
後期高齢者医療事業	4億8,301万円	4億7,702万円	599万円
駐車場事業	754万円	730万円	24万円
合 計	81億167万円	80億7,052万円	3,115万円

企業会計 ※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金等で補填しました

会計名	区 分	収 入	支 出	収支差引額
水道事業	収益的収支	8億1,121万円	7億3,083万円	8,038万円
	資本的収支	3,451万円	5億3,707万円	▲5億 256万円
下水道事業	収益的収支	21億9,963万円	21億2,021万円	7,942万円
	資本的収支	13億1,647万円	20億3,520万円	▲7億1,873万円

- 収益的収支
日常の経営活動に要する収支
- 資本的収支
施設の建設や設備投資に関する収支
(将来の経営活動の基礎となり、収益に結び
ついていくもの)

市の財産の状況

令和元年度末の現在高と令和元年度中の増減をお知らせします。

土地	建物	商標権	有価証券	出資による権利	物品	債権
1,872,745㎡ (409㎡増)	206,560㎡ (283㎡増)	7件 (増減なし)	724万円 (増減なし)	2億1,284万円 (増減なし)	456点 (2点減)	5億2,241万円 (1,360万円減)

消防費

消防や火災予防、災害対策のために

市民一人 当たり
約2万1千円

湖北地域消防組合事業 (消防本部新庁舎建設負担金など)	6億2,176万円
災害対策事業 (防災備品の整備や自治会の防災資機材整備への支援など)	4,219万円
市消防団事業	7,806万円



総合防災訓練



総務費

市政の運営や自治会、まちづくりのために

市民一人 当たり
約8万6千円

公共交通対策事業 (コミュニティバス、乗合タクシー、鉄道対策、駐車場管理など)	1億4,077万円
統合庁舎整備事業	12億3,442万円
自治会振興事業 (自治会まちづくり活動支援、パートナーシップ事業など)	8,059万円



関西国際空港でのシティプロモーション

他にも...

衛生費

健康や衛生的な生活環境を守るために

健康診断事業 3,309万円
(生活習慣病健康診査、がん検診など)

商工費

商工振興事業 1億8,827万円
(商工業振興補助金、創業支援など)

農林水産業費

鳥獣対策マスタープラン事業 7,993万円
(集落ぐるみ獣害総合対策交付金など)

公債費

市の借金返済のために

定時返済元金 17億9,624万円
繰上返済元金 4億1,724万円
返済利子 1億5,970万円

市民一人 当たり
約6万1千円



令和2年度 上半期の予算執行状況

(4月1日～9月30日)

9月末で令和2年度も半年が経過しましたので、予算の執行状況をお知らせします。(令和元年度からの繰り越し含む)

区 分		予 算 額	収入額(収入率)	支出額(執行率)
一般会計		297億9,528万円	146億2,807万円 (49.1%)	132億2,415万円 (44.4%)
特別会計	国民健康保険事業	32億 859万円	11億6,456万円 (36.3%)	11億9,675万円 (37.3%)
	介護保険事業	43億9,992万円	17億3,636万円 (39.5%)	17億9,074万円 (40.7%)
	後期高齢者医療事業	4億9,950万円	1億8,698万円 (37.4%)	2億1,360万円 (42.8%)
	駐車場事業	750万円	384万円 (51.2%)	121万円 (16.1%)
	小 計	81億1,551万円	30億9,174万円 (38.1%)	32億 230万円 (39.5%)
合 計		379億1,079万円	177億1,981万円 (46.7%)	164億2,645万円 (43.3%)

区 分		予 算 額	収入額・支出額	収入率・執行率
企業会計	水道事業	収益的収入	8億5,263万円	3億1,198万円 36.6%
		// 支出	7億9,415万円	2億2,694万円 28.6%
		資本的収入	3億7,649万円	1億 923万円 29.0%
		// 支出	12億1,554万円	9億6,637万円 79.5%
	下水道事業	収益的収入	23億4,170万円	9億3,513万円 39.9%
		// 支出	21億 222万円	3億7,811万円 18.0%
		資本的収入	12億2,267万円	3億9,651万円 32.4%
		// 支出	19億9,610万円	9億9,416万円 49.8%

KeyWord 変 革 挑 戦

コロナ禍を経験し、統合庁舎の開庁を間近に控えた今。市では、令和3年度を思い切った変革と新しいチャレンジが出来るチャンスととらえ、予算編成方針を決定しました。

令和3年度 予算編成 方針を決定

来年度における市のお金の使い道を考えるための基本的な方針を決定しました。

2月に市長選挙が行われるため、当初予算は「※準通年型予算」として議会に提出し、市長の政策的な判断が必要となる経費は補正予算として提案します。

※市長の判断が必要な経費を除いて構成する予算のこと

令和3年度の課題

統合庁舎の開庁とともに支所となる山東庁舎の改修、既存庁舎の跡地利用の推進に取り組むほか、公共施設の長寿命化対策も進めなければなりません。

さらに、子育て支援や定住促進などの人口減少対策、ポストコロナ時代を見据えた新たな市民生活の確立に向けた適切な対応も必要です。

基本方針

下記の2つの重点ポイントから全ての事業を総点検するとともに、「米原新時代」に向け変革したこと、新たに取り組むことを予算として示します。

Point 1 コロナ禍を踏まえた、既存事業の徹底見直し

新型コロナウイルス感染症対応の経験を踏まえ、これまで実施してきた事業のあり方について、廃止も含めた事業の合理化や新しい手法の導入など徹底的な見直しを行います。

その中で、不安な時代における市民のみなさんへの寄り添い方についても検討し、予算に反映させます。

Point 2 庁舎統合に伴う新組織体制と事業の再構築

統合庁舎への移転を機に、事務の合理化や業務プロセスの見直しなどの行財政改革を一層推進できるよう、新たな組織での事業の実施手法や体制づくりを十分に検討します。

庁舎を統合することによる効果を市民のみなさんに確実に還元できるよう事業の調整、予算編成を行います。



問 市 財政課(米原庁舎)
☎52-1553 ☎52-4447

今後の予算編成の追加情報は、随時、市公式ウェブサイトでお知らせします

議論を深める

4つの視点

1 枠配分方式

各部に割り当てられた財源の中で、部内での査定を強化し、より一層、事業の創意工夫、取捨選択を図る。

2 補助事業の検証

多角的な視点から各種補助事業を検証し、廃止・縮小・整理統合などについても検討する。

3 広報戦略

各事業の概要や効果などの情報が市民のみなさんに確実に伝わるよう、広報の充実を図る。

4 フォローアップ

事業実施後における、再検証、有効性の調査など、今後の発展・深化に向けた検証を十分に行う。